

ケータイ・ネット対策事業実行委員会を開催しました

平成23年12月13日に第2回ケータイ・ネット対策事業実行委員会を開催しました。委員会では、本事業の取組の経過報告を行ったあと、大手サイト運営者（DeNA、GREE、CyberAgent、mixi）等と、ケータイ・ネットの危険性から子どもたちを守るための意見交換等を行いました。

経過報告

検索業者によるネット検索や県内の小中学校及び高等学校を対象に行ったケータイに関するアンケート調査結果について報告しました。また、携帯電話事業者と協働で作成した保護者に対するフィルタリング推奨チラシや保護者等によるネット啓発チームの活動について紹介しました。



ネット検索の結果

中高生のプロタイプの検出が減少し、小学生のプロタイプの検出が増加傾向にあります。また、個人情報の検出については、EMA（モバイルコンテンツ審査・運用監視機構）未認定サイトが多く、掲示板サイトは誹謗中傷が書き込まれやすいことなどの検査結果が出ました。



三重大学生からの報告

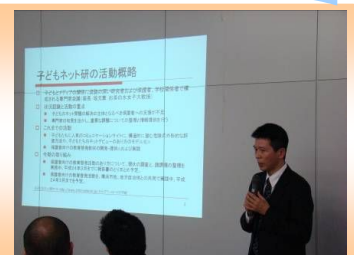
子どもたちと年齢が近いので、同じ目線で、スマートフォンを使った検索活動を、8月から毎週1回行ってきました。スマートフォンには、子どもたちが興味を持ちそうな危険なアプリがたくさんあることや、コミュニティサイトで簡単に個人情報を伝えることができるなど、SNSや掲示板に潜む危険性が分かってきました。



ケータイ・ネットに関する関係機関の取組

子どものインターネット利用について考える研究会 様

子どもたちに人気のコミュニケーションサイトに、構造的に潜む危険の外形的な評価方法や、子どもたちのネットデビューのあり方のモデル化に取り組んだり、保護者向けの教育啓発教材の開発や提供などを行ったりしています。



株式会社DeNA 様

「名前、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を公開してはいけません。」「他人の悪口や嘘を書いてはいけません。ネットは決して匿名ではありません。」「ネットの外では人に出会ってはいけません。」といった利用上の基本ルールを設定したり、24時間体制でのサイトパトロール等を実施したりしています。



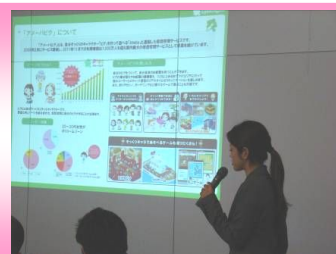
GREE株式会社 様

携帯電話を安全に利用いただくための「利用者（子ども）登録」を行ったり、「18歳未満のユーザーと18歳以上とのメールの送受信が原則制限」などの年齢別の利用制限を設けたりしています。また、24時間体制でネットパトロールを実施したり、学校などにも出向いて、啓発活動等を行ったりしています。



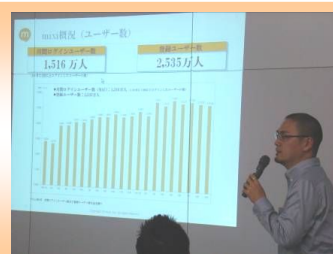
株式会社CyberAgent 様

サービス内での健全化に向けた取組として、18歳未満向けの注意喚起のための特設ページを立ち上げたり、18歳以上と未満向けユーザーの活動エリアの切り分け（年齢別利用制限）をしたりしています。また、ネットパトロールを行い、全画像の目視監視等を行うなどの啓発活動を行っています。



株式会社mixi 様

面識のない人とのコミュニケーションによって、思わぬトラブルに巻き込まれることを防止するため、青少年ユーザーには通常機能とは異なる設定がされています。24時間体制で目視確認を行う「ヒューマンパトロール」を行ったり、ユーザー向けの啓発コンテンツを掲載したりするなどの啓発活動を行っています。



教育委員会と携帯電話事業者が連携して作成しているフィルタリング設定についての推奨チラシを、保護者向けに配付するだけでなく、携帯電話事業者や量販店など保護者が携帯を購入する店にも置いていただくと大変ありがたい。

ゲームサイトは、子どもたちにとって大変魅力的なものである。業者も「子どもたちを守る」という気持ちを持ってサイトパトロール等の取組をしていただきたい。

平成24年度から中学校で実施される新学習指導要領には、情報教育の内容が多く盛り込まれており、学校現場においても、モラル教育、リスク教育を一層充実させていきたいと考えている。

意見交流を行いました

携帯電話の契約やゲームサイト等の見守りについて、それぞれの機関が連携することで、さらに子どもたちを被害から守ることにつながると思った。



保護者のフィルタリングの認識が低く、知らないうちに子どもたちが被害に巻き込まれている現状がある。保護者自身が携帯の怖さや子どもたちの利用状況について知る必要がある。